

昭和十七年年報

國立癩療養所 多磨全生園

国立保健医療科学院蔵書



\*10012192\*

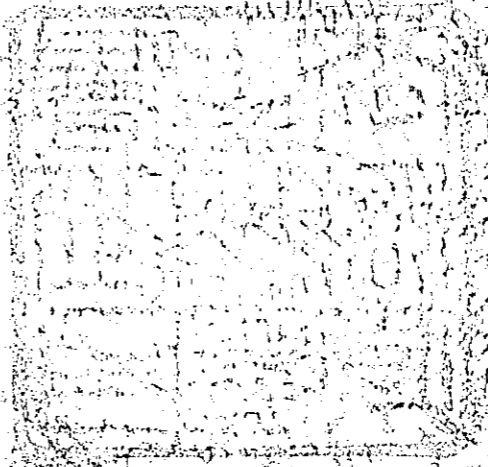
18-12-8  
多磨全生園

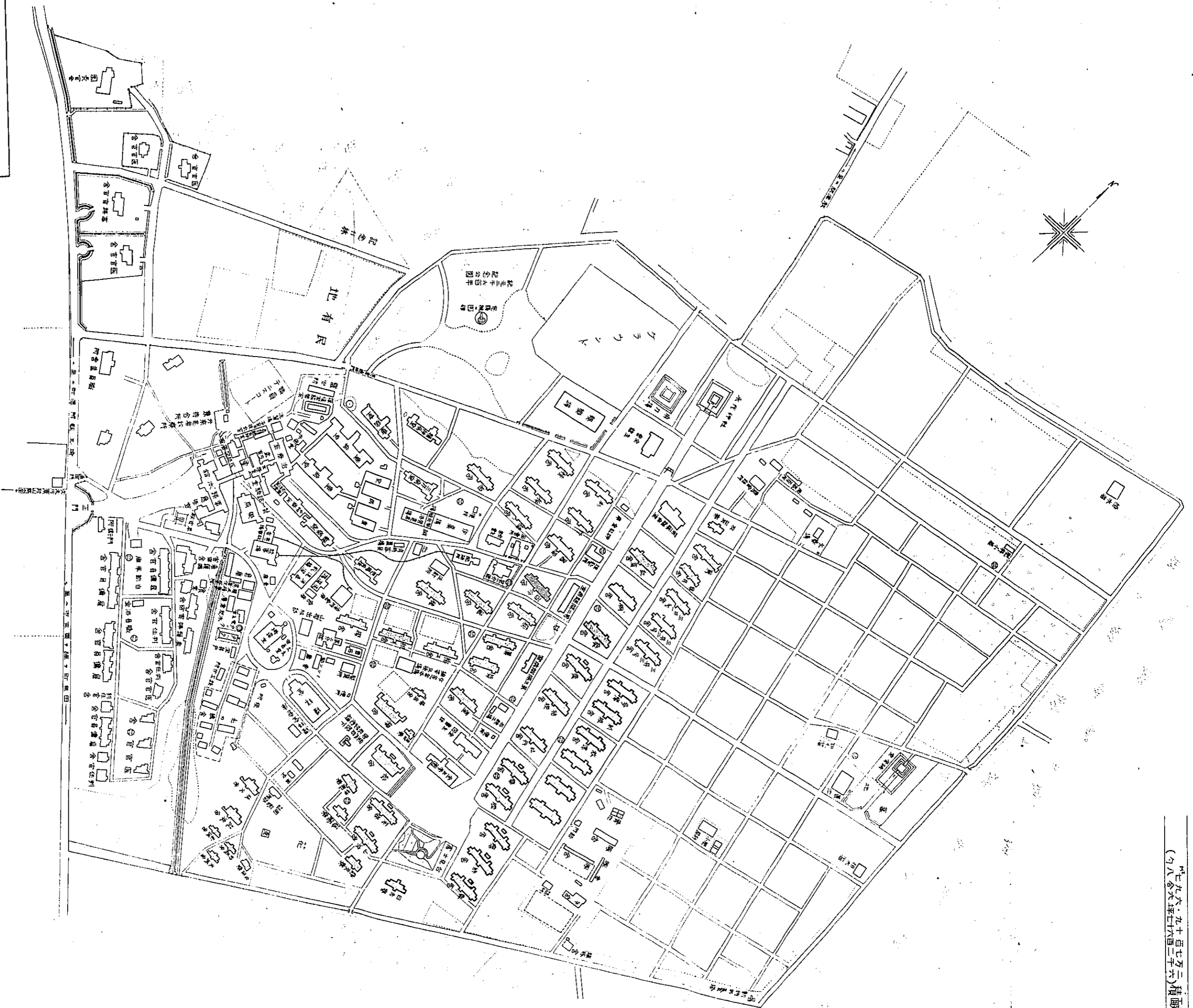


F I

08 17

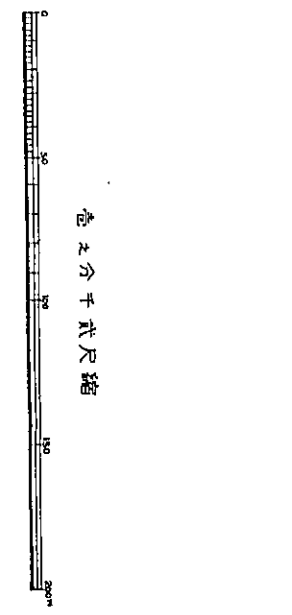
4





通中宇口野町山村東  
2000 園地敷所溜時一者忠

- 男 舍
- 女 舍
- 少年 舍
- 少女 舍
- 天 舍
- 婦 舍
- 空 舍



- 凡例
- 竹 草地
  - 雜 草地
  - 漆 草地
  - 行 草地
  - 果 樹園
  - 木 細
  - 細 細
  - 桑 細
  - 沼 地
  - 井 屋
  - 神 社
  - 乳 牛
  - 生 垣
  - 道 路
  - 地 界
  - 用 地
  - 町 界

FI  
昭17  
4

# 園歌

あしたに あふれ ふじあま  
ゆふべに はゆる ちちぶの わ  
そらより ひろき むさしの の  
なかに われらの すまゐあり

一、あしたに仰ぐ不二の山

ゆうべに映ゆる秩父の嶺

空より廣き武藏野の

中に我等のすまゐあり

二、恵も深き聖代に

もとゐをおきて幾星霜

歴史を語る松風に

ふくいん高くつとふらん

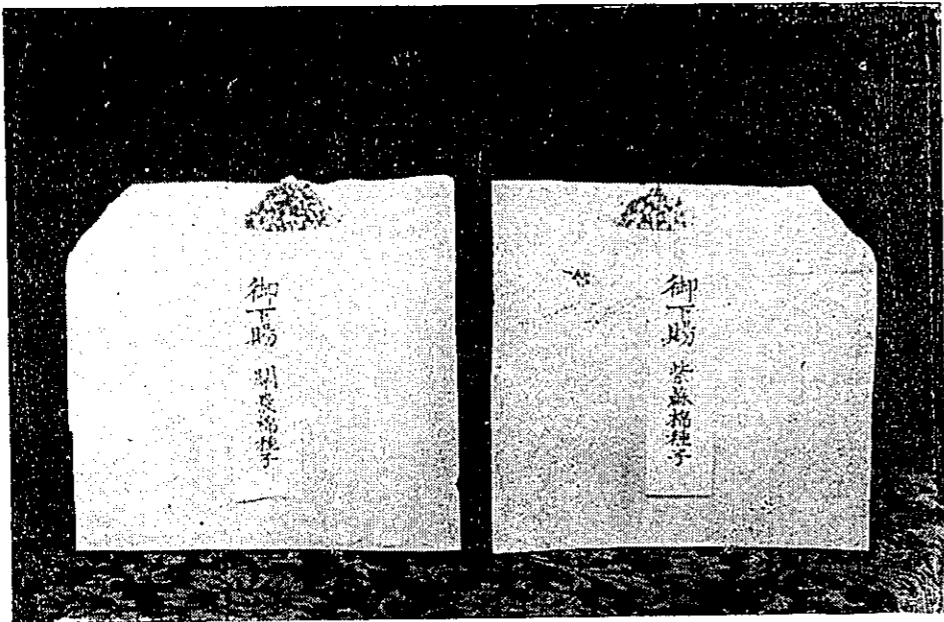
三、その名を聞けや全生の

住ふ村人とこしへに

こゝろの望抱きつゝ

共にたのしく集ひなん

昭和十七年五月十三日 畏クモ 皇太后陛下ヨリ  
 棉種子御下賜アラセラル

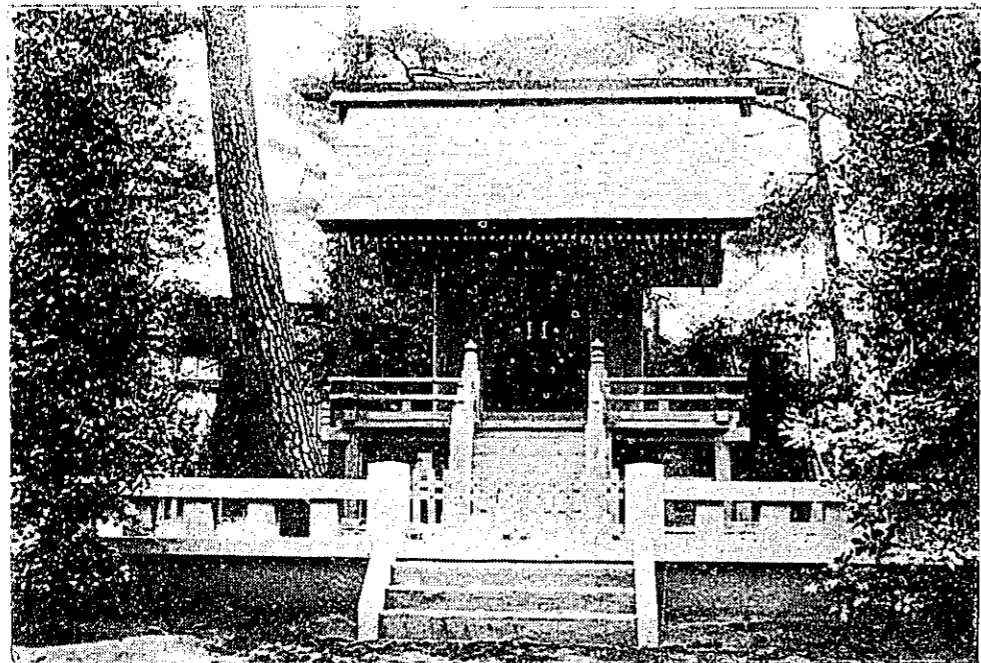


皇太后陛下御歌  
 つれづれの  
 友となりても  
 慰めよ  
 行くことかたき  
 われにかはりて

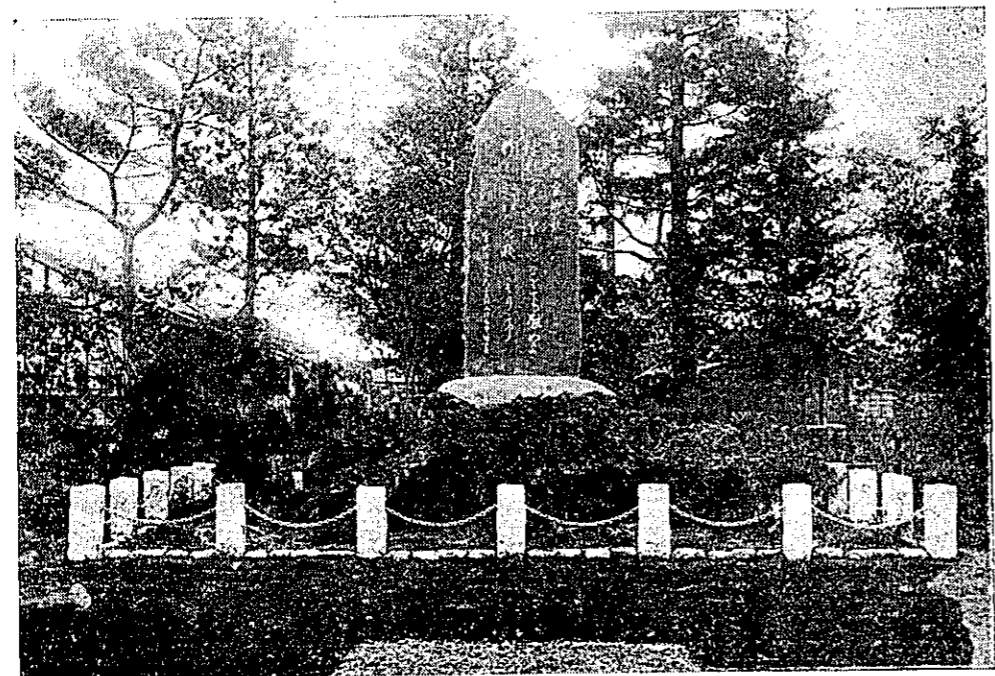
### 療養生活五訓

- 一、吾等ハ大御心ヲ奉體シ一意専心療養ニ勵ムベシ
- 一、吾等ハ皇軍將士ノ心ヲ心トシ困苦ヲ克服シ必勝ノ信念ヲ固ムベシ
- 一、吾等ハ相愛共助ノ精神ニ則リ人格ヲ鍊磨シ相互ノ幸福安寧ヲ圖ルベシ
- 一、吾等ハ公益優先ヲ信條トシ各々其ノ分ヲ盡シ銃後奉公ノ誠ヲ捧グベシ
- 一、吾等ハ感謝報恩ノ念ニ燃エ大政ニ協翼シ明朗健全ナル樂土ヲ建設スベシ

註 右五訓ヲ入團患者ノ教化指標トシ集會等ノ場合ニ於テ唱和セシメ現下ノ時局ニ對スル覺悟及剛健ナル精神ノ昂揚ヲ圖ル



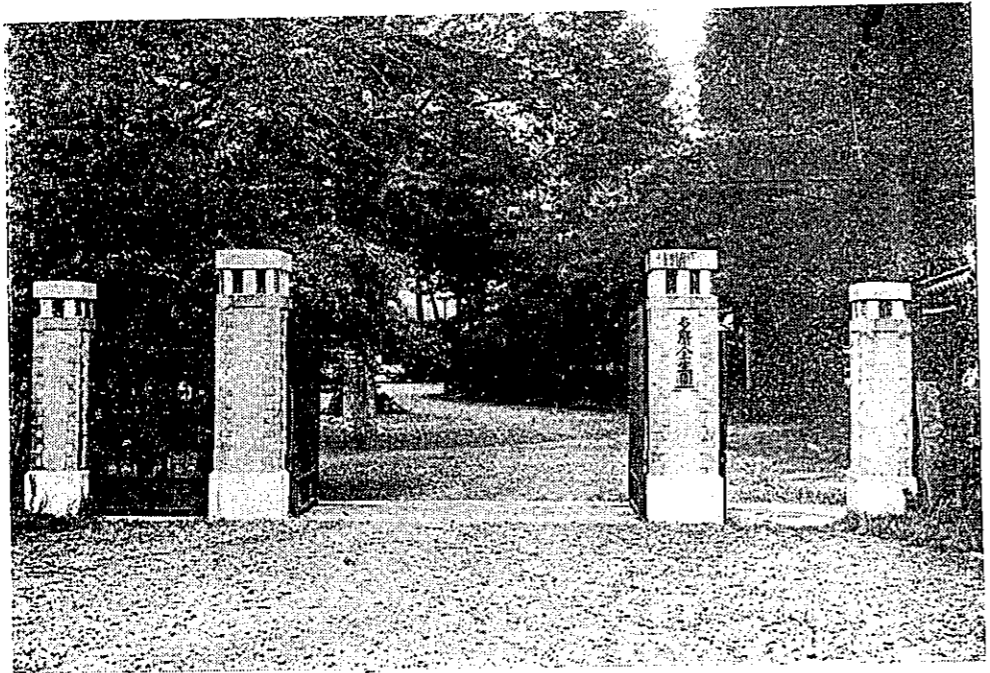
皇太后陛下御寫眞奉安所



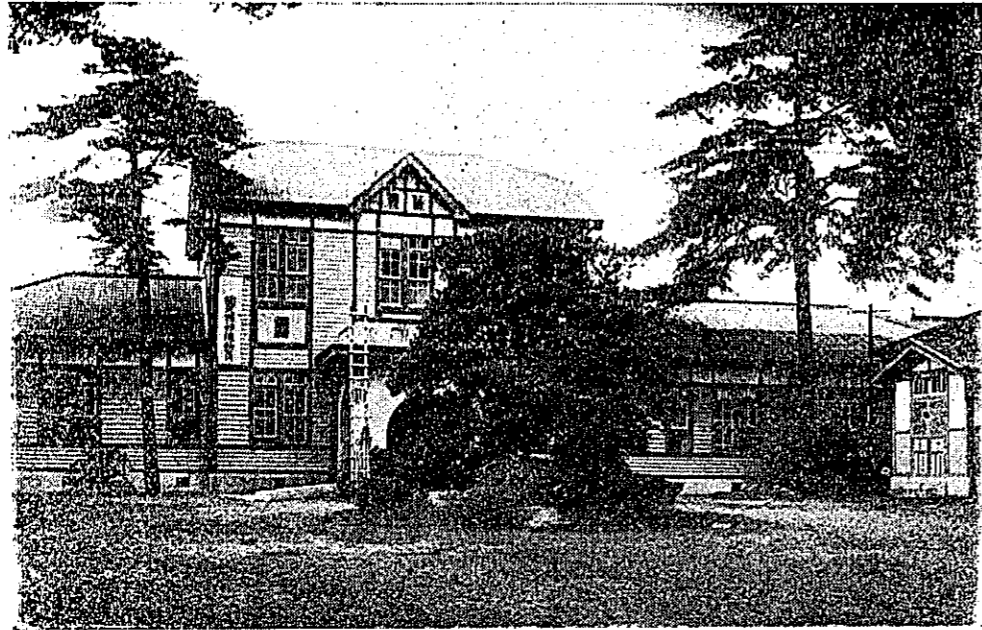
御歌碑



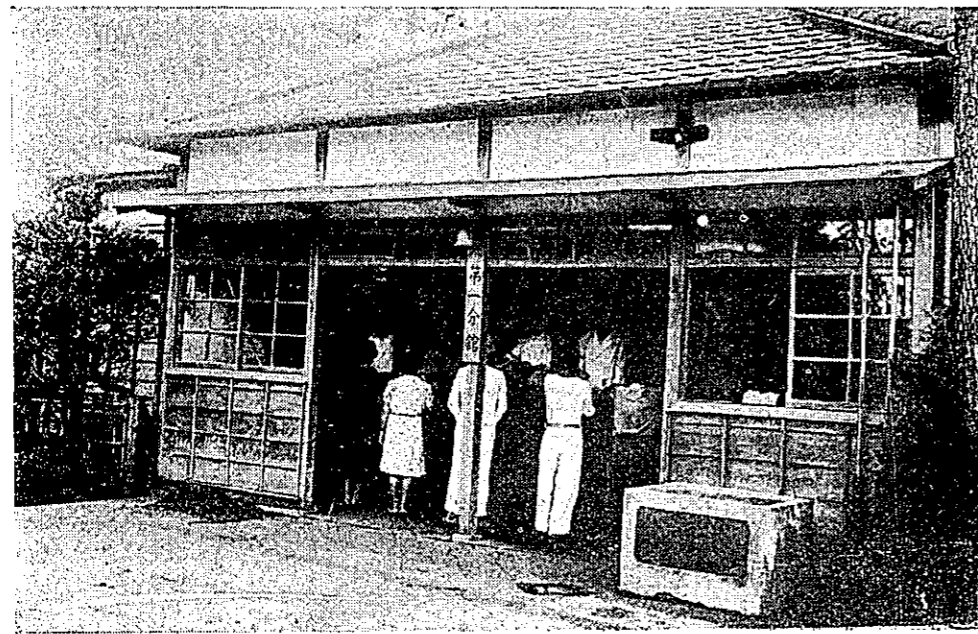
園 全 景



正 門

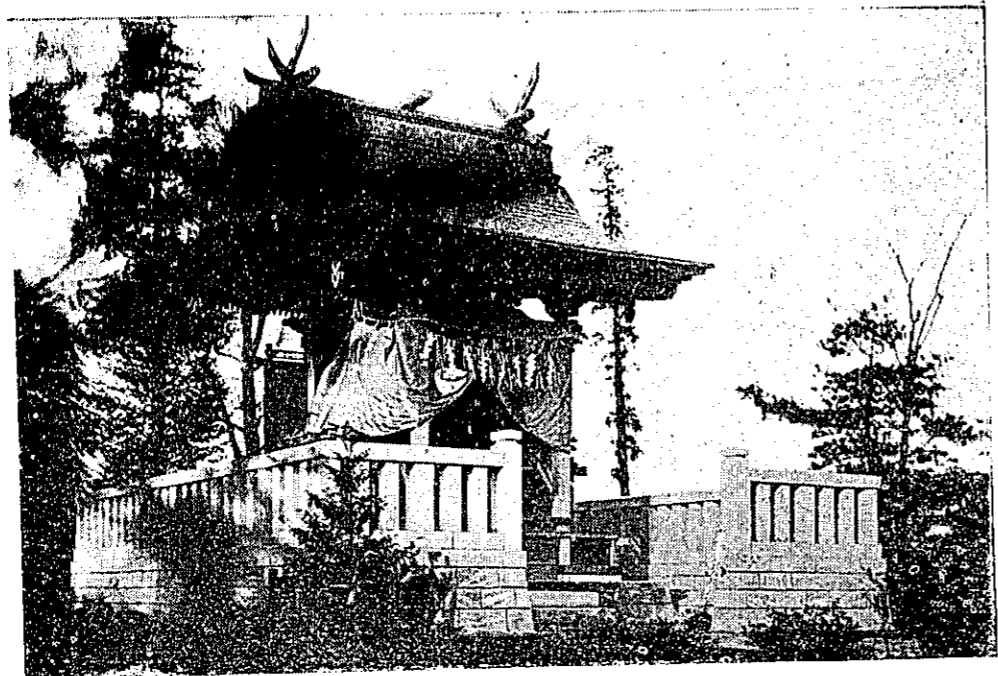


事 務 本 館



事 務 第 一 分 館





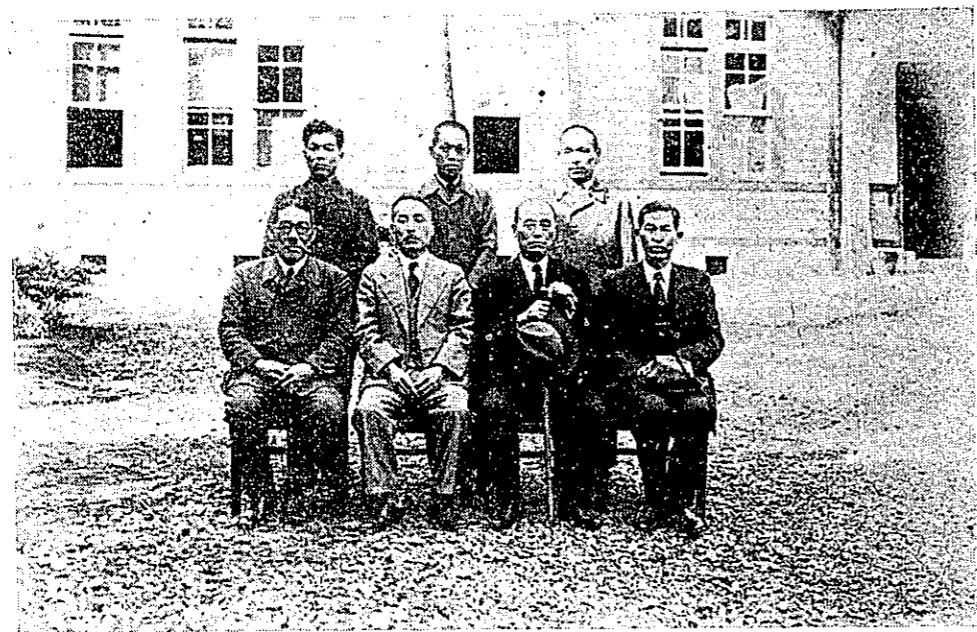
永代神社



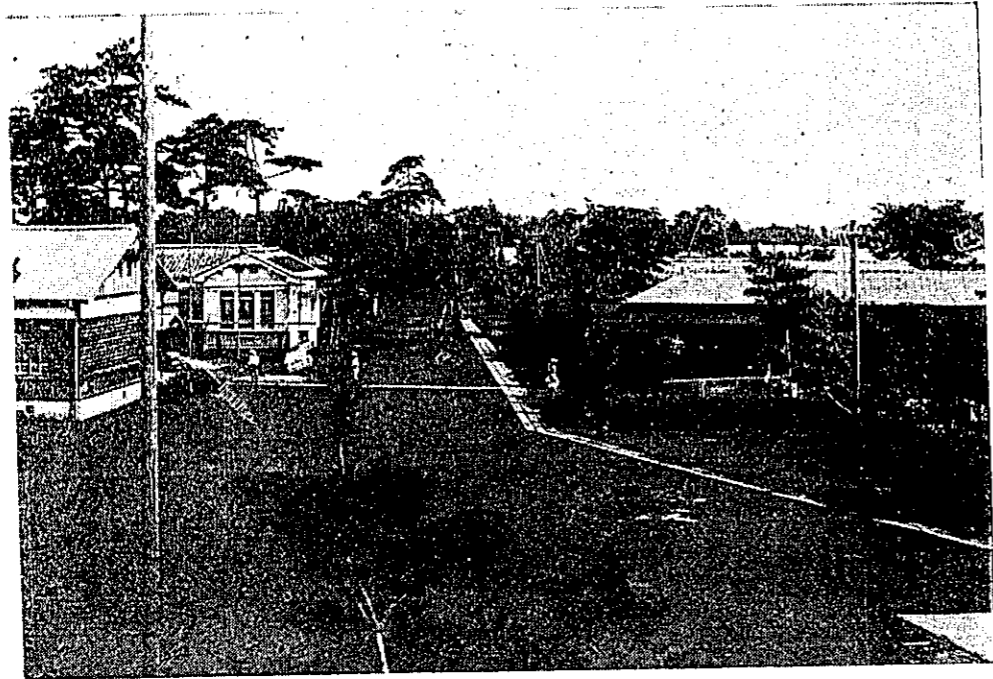
恩賜の楓園



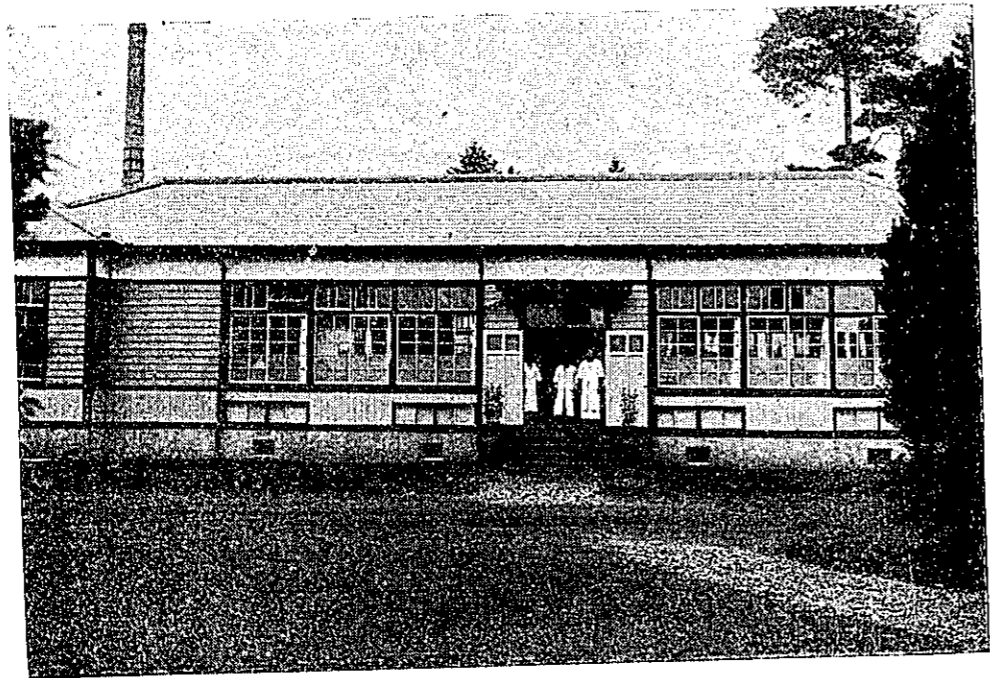
靜友寮落成



三井報恩會理事長米山梅吉氏來園

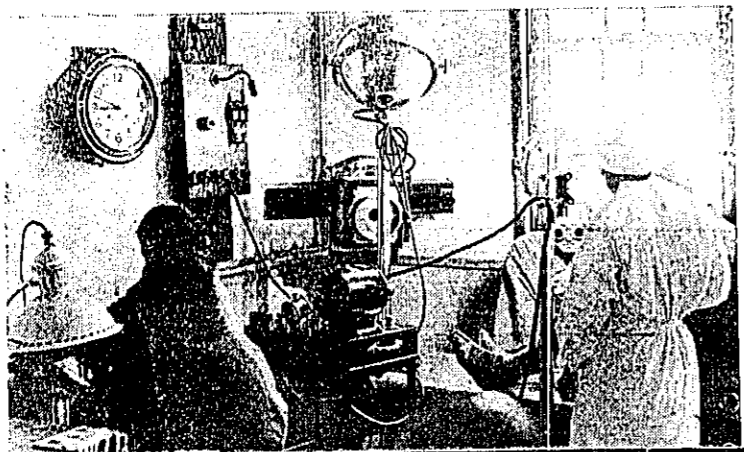


病 舍 地 帯



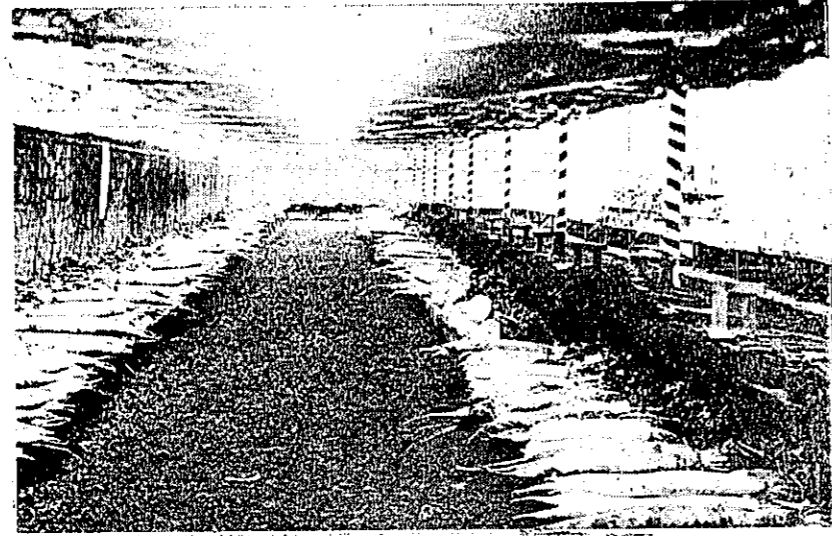
重 症 病 棟

治療室ノ一部



治療經過

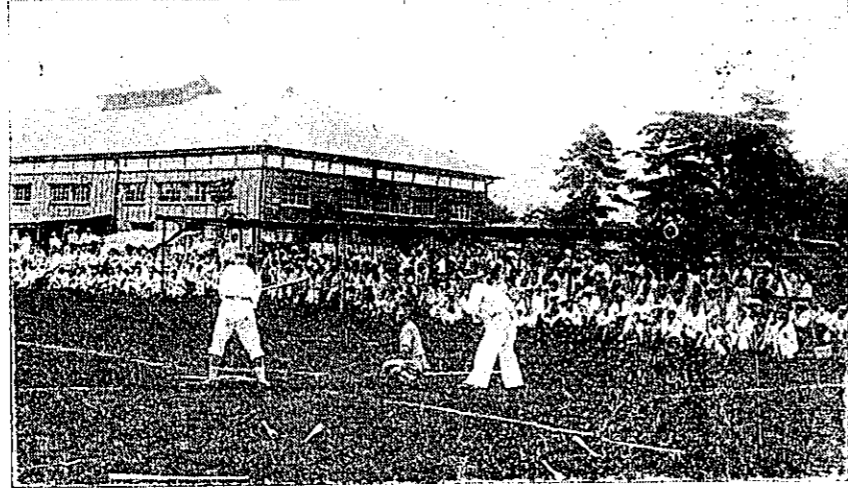




農產物品評會



患者隣組防空訓練



職員對患者野球戰

目次

皇太后陛下ノ御仁慈

第一	沿革	一
一	收容定員増員狀況	一四
二	敷地擴張狀況	一四
三	職員異動表	一五
第二	概況	二二
一	敷地	二三
二	建物	二三
三	職	三四
四	收容患者定員及現在數	三五
五	本年中ニ於ケル重要事項	三五
六	主ナル年中行事	三八
第三	總經費	四〇
一	豫算	四〇
二	決算	四一
三	患者一人當經費	四一
第四	治療	四一
第五	患者ノ生活狀態	四四

一四 一四 一五 二二 二三 二三 三四 三五 三五 三八 四〇 四〇 四一 四一 四四

一	衣	四五
二	慰安及娛樂	五六
三	風紀	五七
四	教育	五七
五	著作	五九
六	常會	六〇
七	其他	六一
第六	統計	六三
一	收容患者異動表	六三
二	現在患者本籍地別表	六五
三	現在患者發病年齡別表	六六
四	患者發病ノ時ヨリ療養所入所迄ニ至ル經過年數別表	七〇
五	現在患者病型年齡別表	七三
六	死亡患者病型年齡別表	七七
七	死亡患者病名年齡別表	七八
八	發病以來死亡迄ノ經過年數別表	八二
九	現在患者發病當時ノ職業別表	八二
一〇	現在患者前科者調表	八五
附	國內社會事業團體	一

### 皇太后陛下ノ御仁慈

畏クモ 皇太后陛下ニ於カセラレテハ癩患者ノ身上ニ就テ厚キ御同情ヲ垂レサセ給ヒ、又其ノ救護事業ニ對シ深ク御慈念アラセラレ度々ノ御仁慈ヲ下シ賜ヒマシク事ハ洵ニ恐懼感激ニ堪ヘナイ所デアリマス。茲ニ本園ニ賜リマシク御仁慈ノ數々ヲ謹記致シマシテ宏大無邊ナル御坤德ヲ偲ビ奉ルト共ニ御思召ニ副ヒ奉ランコトヲ期スル次第デアリマス。

一、昭和五年十一月十日 特別ノ御思召ヲ以テ患者慰安ノ爲メ御内帑金五千圓御下賜ト共ニ癩救療事業従事者御慰勞ノ御思召ヲ以ツテ金品御下賜ノ有難キ御沙汰ヲ拜ス。

一、昭和七年十一月十日 特別ノ御思召ヲ以テ 大宮御所御歌會ニ於テ「癩患者ヲ慰メテ」トノ御兼題ニテ御詠ミ遊バサレタル御歌ヲ初メ奉リ 各宮殿下、宮中高官ノ御歌ヲ拜受ス。

#### 御歌

つれつれの友となりても慰めよ

行くことかたきわれにかはりて

- 一、昭和九年五月二十六日 特別ノ御恩召ニヨリ赤坂御苑ノ實生楓苗木百五十本並御菓子壹箱ヲ御下賜アラセラル
- 一、昭和十年一月十八日 特別ノ御恩召ヲ以テ全國官公立癩療養所長ニ對シ 大宮御所ニ於テ單獨拜謁ヲ賜ヒ種々有難キ御下問ヲ賜リ、尙別室ニ於テ御晝食ヲ賜ヒ御下賜品ヲ拜受ス。
- 一、昭和十年二月十一日 特別ノ御恩召ニ依リ園内設備改善擴充費トシテ御内帑金五千圓ヲ御下賜アラセラル。
- 一、昭和十三年十一月二十八日 御召ニ依リ院長 大宮御所ニ伺候 陛下ニ拜謁仰付ケラレ種々御下問ニ奉答ス。尙御野茶籠其他ノ御下賜品ヲ拜受ス。

- 一、昭和十五年五月十一日 特別ノ御恩召ヲ以テ赤坂御苑ノ實生公孫樹苗木壹鉢御下賜アラセラル。
- 一、昭和十五年十一月十二日 特別ノ御召ヲ以ツテ患者療養慰安設備費トシテ御内帑金五千圓御下賜アラセラル。
- 一、昭和十六年七月十六日 特別ノ御恩召ヲ以ツテ 陛下ノ御寫眞ヲ御下賜アラセラレ 尙赤坂御苑ノ實生菴羅樹苗木參鉢ヲ拜受ス。

一、昭和十七年五月十三日 特別ノ御恩召ニ依リ赤坂御苑御栽培ノ棉ノ實御下賜アラセラル。

## 第一 沿革

### 開院當初

一、第一區府縣立全生病院ハ明治四十年法律第十一號ニ基キ同年內務省令第二十號ヲ以テ東京、神奈川、新潟、埼玉、群馬、千葉、茨城、栃木、愛知、静岡、山梨、長野ノ一府十一縣ヲ聯合區域ト定メ創設シタルモノニシテ時ノ東京府知事阿部浩ハ療養所所在地ノ故ヲ以テ本院管理知事トシテ明治四十年十月創設費豫算ヲ編成シ聯合府縣ノ各代表者ト會合シテ費用ノ支出分擔方法ヲ議定シタルモ豫防法實施期日改正ノ結果遂ニ實行ヲ見ル能ハサリシヲ以テ明治四十一年三月更ニ之ヲ議定スルニ至レリ

### 明治四十二年

一、越エテ明治四十二年二月ニ至リ東京市ヲ距ル西方八里十五町所澤ヲ離ル、東南方約一里田無街道ニ沿ヘル東京府北多摩郡東村山村大字南秋津字開發地内ナル林野三萬七百八坪ヲ敷地ニ選定シ同年四月工ヲ起シ建築ニ著手セリ同月東京府屬大野德太郎ハ本院長事務取扱ヲ命セラレ次テ各醫員、調劑員、書記等ノ任命アリ同年九月光田健輔ハ本院醫長ヲ命セラレタリ

一、明治四十二年九月二十八日諸般ノ準備略ホ整理ヲ告ケタルヲ以テ開院式ヲ舉行セリ然レトモ其ノ設備未ダ全クカラスアルヲ以テ一時東京府荏原郡目黒村私立慰廢園ノ一部ヲ借りテ假收容所ニ充テ其ノ間ノ事務ハ東京府廳内ニ於テ處辨セラレタリ越エテ十月十八日ニ至リ始メテ本院内ニ於テ事務ヲ開始シ收容患者ヲ移スト同時ニ聯合府縣ノ送致ニ係ル患者ヲ順次收容スルニ至レリ

### 明治四十三年



一、三月大野東京府屬ハ院長事務取扱ヲ解カル、ト同時ニ休職千葉縣市原郡長池内才次郎本院長ヲ命セラレ同年六月院長事務トナレリ

一、明治四十三年勅令第三百四十六號癩癩養所職員制發布ニ依リ同年十月池内才次郎ハ癩癩養所長ニ任セラル、ト同時ニ本院長ニ光田健輔ハ癩癩養所醫長ニ任セラル、ト同時ニ本院醫長ヲ命セラレ其ノ他職員、調劑員、書記何レモ任命セラレタリ

### 明治四十四年

一、明治四十五年ヨリ患者百五十人増員ノ計畫ヲ立テ増員ニ對スル建築費及救護ニ要スル一切ノ經費豫算ヲ計上シ聯合府縣協議會ニ提出シタル結果差當リ現在ノ建物ヲ以テ五十人ヲ増員シ明治四十五年四月ヨリ之ヲ實行スルコト、ナレリ

### 大正四年

一、本年度ニ於テハ從來ノ建物ヲ以テ五十人ヲ増員シテ四百人トナスコト、ナリタリ然ルニ大正四年八月ノ豫算協議會ニ於テ聯合府縣當事者ハ御即位ノ大典ニ際シ尙ホ市内各所ニ癩患者ノ浮浪スル者アラムコトヲ慮リ遺憾ナク收容スヘキ決議ヲナシタリ然レトモ如何セン本年度増員ノ爲メ已ニ病舎ノ狹隘ヲ告ケ居ル際ナルヲ以テ十月中ニ四十二坪五合ノ一棟ヲ増設スルノ己ムナキニ至リタルヲ以テ急キ工事ニ著手シ十月末ニ落成セリ依ツテ十一月ノ御大典ノ際ニハ四百二十餘人ヲ收容シ得ルコト、ナリ同年十二月一日ニハ其ノ收容數實ニ四百二十四人ヲ算セリ

同年度設備セシ建築物履具被服日用器具ノ他ニ炊事場ノ改善ヲ施シ從來ノ薪炭ヲ廢シ鈴木式蒸氣炊事竈六箇ヲ裝置シ床面ノ「コンクリート」ヲ撤シテ花崗石トナシ尙一坪五合ノ増築ヲナシタルニ清潔ニシテ且ツ經濟的ナルノミナラス尙將來ニ向ツテ多少ノ餘裕ヲ存スルヲ得タリ

其ノ他隊小屋五坪ノ増設、生垣二百間ノ新設ヲナセリ

一、從來職員退職給與金支給ノ規定ナカリシヲ以テ聯合府縣ノ協議ヲ經テ大正四年度ヨリ施行スルコト、ナレリ

一、患者墓地ニハ是迄墓石ノ設ケナカリシカ大正五年東京市淺草東本願寺ヨリ墓碑一基ヲ寄附セラレタルヲ以テ七月之レカ建設ニ著手シ九月ニ至リ其ノ落成ヲ告ケタルニヨリ同年十二月二十二日秋季慰靈祭ヲ兼テ除幕式ヲ舉行セリ

### 大正六年

一、本年度ニ於テ從來收容定員四百人ノ外更ニ患者百人増員ノ豫算可決セルヲ以テ増員ニ必要ナル諸建物ノ建築ニ著手セリ

一、汽罐室ヲ増築シ蒸氣機關一臺ヲ据付クヘキ豫定ノ處物價騰貴ニ伴ヒ既定豫算ニテハ建築及汽罐ヲ購入スルコト能ハサルニ依リ止ムナク汽罐室増築ハ大正七年度ニ延期シ機關一臺ノミヲ購入シタリ

### 大正十一年

一、本年度ヨリ患者百人増員ニ伴フ諸設備ヲ實施センカ爲メ大正十年九月上旬聯合府縣當事者ハ東京府廳ニ會合シ十年度追加豫算建築費拾八萬四千四拾四圓、初度調辦費金壹萬壹千貳百五拾貳圓九拾五錢ヲ可決セリ依テ先ツ以テ敷地ヲ擴張センカ爲メ現在敷地ニ接續セル東南方山林及畑地二萬三百五十三坪ヲ同年十二月買收セリ然レトモ建築工事ハ時日僅少ナリシカ爲メニ同年度内ニ著手スルノ運ヒニ至ラザリキ

### 大正十二年

一、院長光田健輔ハ內務省ヨリ臨時衛生局事務ヲ囑託セラレ大正十二年七月佛國ニ於テ開催ノ萬國癩癩會議ニ本邦代表者トシテ出席ヲ命セラレ且東京府ヨリハ佛國へ出張ノ序テヲ以テ歐米各國ニ於ケル癩癩防事務視察ヲ命セラレ同年六月六日渡歐ニ付同月四日院長不在中東京府庶務課長理事官土岐銀次郎ハ院長事務取扱ヲ命セラレタリ

一、大正十三年ヨリ患者百五十人増員ニ伴フ諸設備ヲ實施センカ爲メ大正十一年九月聯合府縣當事者東京府廳ニ會合シ十一年度追加豫算建築費八萬三千五百六拾貳圓五拾錢初度調辦費貳萬貳千圓ヲ可決セリ然レトモ建築工事ハ前年度ヨリ繰越工事多ク且時日僅少ナリシヲ以テ同年度内著手ノ運ヒニ至ラスシテ大部分十二年度ニ繰延タリ尙患者百五十人

増員ニ伴ヒ敷地ノ狹隘ヲ感セルヲ以テ十二年三月現在敷地ニ接續セル東方山林四千六百六十四坪ヲ買収セリ  
一、九月一日午前十一時五十八分關東地方ニ起リタル大震災ノ爲メニ本院ノ蒙リタル被害左ノ如シ

一號館(事務所)ニ、三號館(治療所)ハ屋根ノ破損及壁ノ墜落甚クシ

藥劑庫及器具消毒室(藥室)ヨリ發火シタルモ直ニ消シ止メタリ原因ハ貯藏藥品ノ顛覆破壞シタルニ由ル  
收容患者ハ直ニ院內及庭園中央ニ避難セシメ幸ニ壹名ノ死傷者モナシ

輕症舎禮拜堂並ニ重症舎及新病舎診察室(十二年新築)ハ屋根ノ破損及壁ノ墜落個所甚ク多シ  
患者作業所兼娛樂所壹棟(八拾坪)ハ倒潰シ折柄該室內ニ於テ作業中ノ患者六名壓セラレタルモ直ニ匍ヒ出テ事ナキ  
ヲ得タリ

井戸水ハ一時白色ニ混濁シタルモ飲料ニ支障ヲ生セス

舊蒸汽機關ハ煉瓦崩壞ノ爲メ使用シ得サルモ他ノ汽罐(大正八年建設ノモノ)ニ故障ナカリシヲ以テ辛ウシテ食料品  
支給並ニ消毒用ニ使用差支ナキヲ得タリ

建設中ノ汽罐ハ周圍ノ煉瓦ニ龜裂ヲ生シ前方へ突出シ大煙突モ亦中央部ニ龜裂ヲ生シタル箇所アリ

職員舎宅ハ瓦ノ破損壁ノ墜落箇所甚ク多シ  
火葬場ハ煉瓦崩壞シ全ク使用ニ堪ヘス

### 大正十四年

一、十月東京ニ於テ開催セラレタル極東熱帶醫學會及國際聯盟各國衛生技術官交換會議ニ列席ノ各會議員來院親シク視  
察ヲ了セラル

### 大正十五年

一、二月九日新禮拜堂ノ開堂式ヲ舉行シ舊禮拜堂ニ安置セル御神體ヲ奉遷シ次テ三月五日ニ眞宗五月二十日ニ日蓮宗六  
月四日ニ眞言宗ト順次各本尊ヲ新禮拜堂ニ遷シ各本山並ニ宗務院ヨリ高僧ヲ派遣セラレ莊嚴ナル遷佛式ヲ行ヘリ

一、十一月十一日午前一時頃輕症舎松舎一號室ノ押入附近ヨリ發火シ同舎一棟(四十三坪五合)ヲ燒失セルモ患者中一名  
モ負傷者ヲ出サ、リシハ不幸中ノ幸ナリキ

### 昭和二年

一、患者收容數年々増加スルニ伴ヒ敷地擴張ノ必要ヲ生シ三月中地主ト協議ノ上隣接民有地貳萬五千六百六拾參坪ヲ買收  
セリ

### 昭和三年

一、收容患者百五十名増員ノ爲メ二十一棟増改築セリ

### 昭和四年

一、本年中ノ施設トシテ試驗室ノ増築ヲ爲スト共ニ理化學的療法ノ設備ヲナシ、追加豫算ニヨリ排水工事ヲ完成シ又給  
水方法トシテ深度三五〇尺以上ノ鑿泉ト壓搾「タンク」ヲ新設セリ

一、防火設備ノ爲メ院內ニ消火栓ヲ敷設シ又消毒物ノ完全ヲ期センガ爲メ汽罐ノ増設ヲ爲シ、消毒場、洗濯場、乾燥室  
等ノ改築ニ著手セリ

一、從來患者ノ輸送ニ際シテハ一方ナラサル不便ヲ感セシヲ以テ患者輸送自動車壹輛ヲ購入シ收容ノ際ハ品川、赤羽、  
三河島、八王寺、兩國等ノ各驛マテ出向セシムルヲ以テ多大ノ便利ヲ得ルニ至レリ

一、本年新ニ消防團、少年團、少女團等ヲ編成シ制規ノ服裝ヲ爲サシメ輕快ナル動作ニヨリ院內ノ奉仕作業ニ從事セシ  
メ一般患者ノ品性ノ陶冶風紀ノ改善ニ努力セリ

一、患者ハ從來其ノ所在ヲ他ニ漏レサル様苦心シ種々偽名ノモトニ家族等ト音信ヲナシ來タリシモ、本年新ニ郵便局內  
ニ私書函ヲ設置シ又送金ヲ便ナラシムル爲メニ病院名ノ記載ヲ省キ特ニ「秋津クラブ」ノ名稱ヲ付シ振替口座ニ加入  
シタルヲ以テ患者並ニ家族ハ非常ニ喜悅シ安心シテ通信スルニ至レリ

一、九月二十八日ハ本院創立滿二十周年ニ相當スルヲ以テ之カ記念式ヲ舉行セリ

### 昭和五年

一、皇太后陛下ニハ夙ニ痲病者ヲ御憐憫畏クモ日々ノ供御並ニ御調度品ヲ御節約遊ハサレ十一月十日 昭憲皇太后陛下ノ御名ニ於テ收容患者慰安ノ爲金五千圓ヲ御下賜アラセラレ尙ホ多年本病者ノ救療ニ從事シタル職員ニ對シ金品御下賜ノ恩命アリ十二月六日東京府廳ニ於テ傳達式ヲ舉行セラル其ノ光榮ニ浴シタル者院長光田健輔外十三名ナリ

一、收容患者定員ハ九百人ナルモ常ニ千有餘人ヲ收容シ尙ホ聯合府縣ヨリノ申込數常ニ五十名ヲ下ラス直接入院希望者亦益々増加セルヲ以テ八月ノ各府縣協議會ニ於テ來年度ヨリ百人ノ増員ヲ可決シ之ニ伴フ重症舍一棟患者住宅三棟ノ増築ニ著手セリ

### 昭和六年

一、三月十六日院長光田健輔ハ本職ヲ免セラレ 國立痲療養所長島愛生園長ニ轉補セラレタルヲ以テ 東京府衛生課長輕部修伯院長事務取扱ヲ命セラル 五月五日職員林芳信醫長ニ任セラレ同日院長ヲ命セラル、ト同時ニ輕部院長事務取扱其ノ職ヲ解カレタリ

三月二十五日職員林文雄本職ヲ免セラル、ト同時ニ長島愛生園醫官ニ補セラレタリ其ノ他醫務囑託員、雇員、看護人ニシテ長島愛生園ニ轉シタル者五名アリ

#### 一、敷地擴張

患者増員ニ伴ヒ敷地擴張ノ必要ニ迫ラレ聯合府縣ノ承認ヲ經テ七月現在敷地ノ北方ニ接續セル南秋津字中原山林九千四百七十三坪ヲ買收シタリ

#### 一、定員増加並移動

三月二十五日患者男女合計八十一名ヲ國立長島愛生園ニ移送シタリ

本年度ニ於テ收容定員百名増加シ千名トナリタルヲ以テ輕症舍三棟、重症舍一棟ノ増築ヲナシ患者ノ補充ニ力ヲ致シ

一箇年間ノ收容數ハ實ニ二百五十名ニ及ヒ年末現在數千九十二名ニ達シタリ如斯多數患者ヲ收容シタルコトハ開院以來未クアラサリキ

#### 一、財團法人全生互惠會ノ設立

畏クモ 皇太后陛下ニハ常ニ痲事業ニ關シ御軫念遊ハサレ昭和五年十一月十日痲患者及ヒ多年本事業ニ從事セル職員ニ對シ御下賜金並ニ御下賜品ノ事アリ本院ニ於テハコノ有難キ恩召ヲ記念センカ爲メニ御下賜金ヲ基トシ諸般ノ寄附金、收容患者ノ設立ニカ、ル全生賣店、農會試作部、山櫻出版部、互惠部等ノ積立金品ヲ合シ財團法人全生互惠會ヲ設立シ其ノ筋ニ願出タル所四月二十五日付許可セラレタルヲ以テ六月二十六日多數名士ノ來院ヲ得テ設立祝賀式ヲ舉行セリ

#### 一、看護人看護婦講習所設立

看護人ノ採用ニ關シテハ收容患者カ特殊ノ疾病ナルヲ以テ採用ノ困難ナルト共ニ技術取扱等ニ缺クル所アルニヨリ看護婦講習設備ノ必要ヲ認メ大正四年八月東京府へ設立ノ申請ヲナシタルモ經費其他ノ關係上許可セラレサリシカ昭和五年十二月十三日再ヒ上申シタルニ同十七日付ニテ許可セラレタルニヨリ同六年一月十五日警視廳へ申請、二月二十八日指定セラレタルヲ以テ五月二十九日第一回講習生ノ卒業式ヲ舉行シタリ

#### 一、患者教育會新設

患者教育會ノ必要ヲ認ムル事多年漸ク本年七十坪二合五勺ノ校舍ヲ新築シタルヲ以テ十一月十三日落成式ヲ兼テ學藝品展覽會ヲ開催セリ、集マル所一道二府十二縣、臺灣、南滿洲、加奈陀等ニシテ千三百點ニ及ヘリ

道路敷石

四三〇坪(六、四五〇枚)

### 昭和七年

一、昨六年十一月財團法人痲療防協會ヨリ患者相談所二棟ノ建築方ヲ依頼シ來リシヲ以テ東京府ノ許可ヲ得テ患者作業ニ依リ工事ニ著手シ五月下旬竣工七月一日ヨリ開所シ年末ニハ九名ノ患者ヲ收容セリ尙ホ同協會ヨリ四棟ノ増築方ヲ申シ來リシヲ以テ直ニ工事ニ著手セリ

一、藤蔭靜枝嬢寄附ノ輕症舎一棟(十八坪五合)ハ財團法人全生互惠會ニヨリ工事中ノ處十一月竣工シタルヲ以テ藤蔭寮ト命名シ男年少者ヲ收容セリ

### 昭和八年

一、運動場開キ 四月十三日豫テ院内北隅ニ工事中ノ運動場竣工ニ付運動場開キヲ舉行セリ

一、御歌記念碑除幕式 畏クモ 皇太后陛下ニハ昭和七年「癩患者を慰めて」トノ御兼題ヲ仰出サレ

つれづれの友となりても慰めよ  
行くことかたきわれにかはりて

ト御詠シ遊ハサレタリ

而シテ其ノ御歌ヲ永ク記念センカ爲寄附金ヲ以テ御歌ヲ刻ミタル御坤徳記念碑建設ヲ企テ十一月十日ソノ竣工ヲ見タルヲ以テ入江皇太后宮太夫閣下、鹿兒島宮内省總務課長閣下、大島内務省衛生局長閣下、香坂東京府知事閣下、清閑寺皇太后宮事務官殿始メ其他多數名士御臨場ノ許ニ盛大ナル除幕式ヲ舉行セリ

### 昭和九年

#### 一、永代神社大祭

豫テ慰安會ニ於テ建設中ナリシ永代神社竣工シタルヲ以テ伊勢皇大神宮、豐受大神宮、明治神宮ノ御三柱ノ御神靈ヲ奉戴シ五月二十二日夜九時ヨリ全職員參列古式ニ則リ遷宮式ヲ舉行シ翌二十三日午後二時半ヨリ大祭ヲ執行セリ

#### 一、第三區外島保養院患者委託

九月二十一日中國近畿地方ヲ襲ヘル大暴風雨ノ爲メ外島保養院ハ不幸ニモ津浪ノ襲來ヲ受ケ改築殆ント成リテ十一月移轉スルノ豫定ナリシ主要建物及舊建物全部潰滅ニ歸シタルヲ以テ生存患者ヲ全國各療養所ニ委託スルコト、ナリ、本院ハ九月二十七日五拾名、十月九日二拾名合計七拾名ノ患者ヲ受託收容セリ

#### 一、寄附ヲ受ケタル建物

一、神社 患者慰安會事業トシテ患者ノ手ニヨリ建築中ナリシ神社一棟一坪(家根銅板神明造リ)ハ五月ヲ以テ全部落成セシヲ以テ同會ハ之ヲ本院ニ寄附シタリ

一、輕症舎 東京市本郷區駒込東片町宇都野研氏ヨリノ指定寄附金ヲ以テ輕症者一棟二十二坪二合五勺ヲ建築セリ

### 昭和十年

一、皇太后陛下御下賜ノ鶏卵ヲ孵化シタルニ雌一、雄二羽ノ雛孵リタルヲ以テ院内ニ「光の鶏舎」ヲ築キテ飼育セシニ年末ニ至リ十八羽ノ雛ヲ増加セリ

#### 一、永代神社大鳥居ノ建設

永代神社大鳥居(花崗岩)ハ特志家並ニ職員患者ノ寄附金ヲ以テ建設スルコト、ナリ五月十五日東村山氷川神社武内社掌ヲ聘シ地鎮祭ヲ執行シ同月二十一日御手洗(花崗岩)ト共ニ工事落成セリ

#### 一、納骨堂除幕式

多年ノ宿願タリシ患者ノ遺骨ヲ收藏スヘキ納骨堂ノ建設ハ昨年京都大谷派本願寺、同内侍局、東京築地本願寺、曹洞宗宗務院、日蓮宗宗務院、眞言宗豊山派宗務院、同智山派宗務院、淨土宗宗務院、淺草淺草寺等ノ各宗門並ニ特志家ノ援助ヲ受ケ更ニ本院職員、患者ノ寄附金ヲ合セテ財源トシ九年八月工ヲ起シテ以來約一箇年ノ歳月ト二千二百餘圓ノ工費、延人員三千四百四十二人ノ患者ノ作業等ヲ以テ漸ク竣工セシニ依リ六月十九日京都東本願寺御連枝信正院殿親下、同淺草別院沼波輪番、西本願寺東京築地別院岡部輪番、曹洞宗教學部長來馬琢道師外多數高僧臨場、本院囑託和光堅正師司式ノ許ニ莊嚴ナル佛式ヲ以テ除幕式ヲ舉行、微妙ナル奏樂裡ニ院長、主事堂前ニ進ミ除幕ヲ行ヘハ東本願寺法主親下御染筆ノ「俱會一處」ノ金文寺燦然トシテ輝キ一同暫時默禮ヲ捧ケリ、之ヨリ信正院殿親下大導師トシテ法要ヲ嚴修セラレ院長ノ謝辭、主事ノ工事報告ヲ終リ内務省衛生局長、東京府知事、曹洞宗來馬教學部長其他來賓ノ祝辭アリ最後ニ信正院殿親下代理沼波僧正ノ一場ノ挨拶アリテ此ノ歴史的式典ヲ終了セリ

### 昭和十一年